

# ASAKURA

小中高生のための

# 税友あさくら

甘木朝倉地区税務連絡協議会

第63号

令和5年  
12月



小学生の税に関する  
絵はがきコンクール

第16回 優秀作品 **最優秀賞**



法人会長賞



三奈木小学校 6年  
中山 月乃 さん



※この作品は令和5年12月の受賞作品です。



甘木税務署長賞



立石小学校 6年  
釜堀 真緒 さん



法人会女性部会長賞



福田小学校 6年  
原田 明 さん

## 高校生の優秀作文

### ★甘木税務署長賞

「税の違いから見える幸福度と税の考え方」

福岡県立 朝倉光陽高等学校  
一年 平山 晃菜

### ★福岡県久留米県税事務所長賞

「税の必要性」

福岡県立 朝倉東高等学校  
一年 露木 美緒

「税についての理解」

福岡県立 朝倉東高等学校  
一年 土内 羽月

### ★甘木朝倉地区税務連絡協議会 会長賞

「頑張る理由」

福岡県立 朝倉東高等学校  
一年 國崎 龍斗

### ★公益社団法人 甘木朝倉法人会 会長賞

「税金と向き合う」

福岡県立 朝倉東高等学校  
一年 早田 美乃

### ★朝倉市長賞

「今、自分達が考える」

福岡県立 朝倉光陽高等学校  
一年 日下 琉仁

## 中学生の優秀作文

### ★福岡県納税貯蓄組合連合会 会長賞

「税金と年金」

筑前町立 三輪中学校  
二年 時津 沙耶

### ★甘木税務署長賞

「今よりもっと素敵な日本にするために」

筑前町立 夜須中学校  
三年 日野 智菜

「心を温かくしてくれる税」

筑前町立 三輪中学校  
一年 松尾 優吾

### ★福岡県久留米県税事務所長賞

「税金の役割」

朝倉市立 杷木中学校  
三年 足立 愛子

### ★甘木朝倉地区税務連絡協議会 会長賞

「税金の大切さ」

朝倉市立 十文字中学校  
三年 喜多村 美樹

### ★公益社団法人 甘木朝倉法人会 会長賞

「みんなを助ける税金」

朝倉市立 甘木中学校  
三年 樽美 夏葵

### ★朝倉市長賞

「私たちの生活は税金が支えている」

朝倉市立 南陵中学校  
三年 永露 和花

### ★筑前町長賞

「社会を成り立たせる重要なもの」

筑前町立 夜須中学校  
三年 古賀 日葵

### ★東峰村長賞

「税金に支えられている私達の暮らし」

東峰村立 東峰学園  
九年 鬼丸 知音里



#### \* 高校生の作文

甘木税務署管内の高校より、二二八編の応募があり、その中から六編の作品が入選しました。

#### \* 中学生の作文

甘木税務署管内の中学校より、五六八編の応募があり、その中から九編の作品が入選しました。

# 高校生の優秀作文

★甘木税務署長賞

福岡県立 朝倉光陽高等学校  
一年 平山 晃葉

## 「税の違いから見える幸福度と税の考え方」

いつぞやか、テレビを見ているときに税について説明している番組を見ました。とくに見たい番組がなかったのでものまま番組を見てみると、各国の税率と幸福度を比較して、税率の高い低い幸福度とどのような影響があるのかを説明していました。その説明を聞いてみると、「日本は税率が低いのに、幸福度が低い。一方、北欧の方は、税率が高いのに、幸福度も高い国が多い。」と説明していました。

私はこのお話を聞いて思いました。「税率が高いと生活の面が苦しくなっていくんじゃないのだろうか。」と思った

ので、日本と北欧にあたるスウェーデンと比較して、税に対する違いは何か、税がどのような関係で幸福度に影響があるのかを調べることになりました。

まず、日本とスウェーデンの税に対する違いについて調べてみると、日本の税に対する私の考えとしては、税金は生活面を補うものがあって生活を保障してくれるものではないので自分で生活できるように働かないと国の保障だけでは生活しにくいと感じられた。一方、スウェーデンの税に対する私の考えは、国が責任を持って国民の面倒を見

るといふ考えがあるので仮に高い税率などで生活が苦しくなっても国が生活を保障してくれているので、安心して生活がしやすい環境になっていると感じられました。

唐突だが例えば、失業してしまった場合を日本とスウェーデンで比較してみると、スウェーデンの方が、生活保障が手厚い。一方で日本は、スウェーデンほどの保障ではないと感じられました。

このことから日本とスウェーデンの税に対する違いは、「どちらも保障はするけれど、税に対する考え方や使い方、税率などが違うことが分かった。

そして幸福度と税のかかわりについて調べて分かったことは、税が幸福度のすべてにかかわっているのではなく、幸福度と思えるような生活を送るためにいくつかが税がかかわることによって幸福と思えるような生活になることが分かった。

例えば、失業しても生活が保障されていたり、子供の教育費が無償になったり、年をとっても、安定して生活ができる環境であったりと未来を保障するというシステムを作ることによって幸福と思えるようになると思う。

このことから、税と幸福度はかかわりがあることが分かった。そして、日本の幸福度を上げるために、北欧の方のように税率を上げてもいいのでは、と少し考えたが、今後、物価や世界情勢がまだ不安定なので、税率や幸福度以外にもさまざまな課題があるのでそのようなこともきちんと知っていききたいと思いました。



## ★福岡県久留米県税事務所長賞

福岡県立 朝倉東高等学校

一年 露木 美緒

## 「税の必要性」

みなさんは、税金をきちんと理解したうえで払っていますか？そう言う私もこの作文を書くまでは、きちんと理解していません。税金をきちんと払わなければならないのか疑問に思っていました。私たちが国に納めている税金はそんなに安いものではありません。私たちは決められた割合を決められたとおりには納めています。何のために税金を納めているのか、本当に理解している人は少ないと思います。

二〇一九年十月に、消費税が八%から十%に引き上げられました。なぜ、引き上げられたかという、社会保障関係費を増やすためです。日本は少子高齢化が進み、年金を含む社会保障費が増えることは避けられ

ません。その為にも、財源を確保する必要があります。低所得者にも同じ負担を強いる不公平なもののように思えますが、その対策として軽減税率という措置がとられています。これにより、外食や酒類には十%の消費税がかかるが、スーパーなどで買う食品や新聞は、今まで通り消費税八%です。納められた税金は高齢者だけではなく、全世代の社会保障費にも

まかなわれています。保育の無償化や高等教育の無償化などがあります。つまり、この増税は私たち国民のための政策であったと言えます。私の友達が通っている学校では、七月の大雨により校舎が浸水しました。その時に、教科書などが水に浸ってしまいました。小学校や中学校の時は、

教科書は無償で配布されていましたが、高校ではお金を払って買っていたので税金の大切さがわかりました。そのほかにも、浸水による校舎の被害を国が支援してくれています。

他にも、税金は私たちの身近に使われています。例えば、私たちが普段通っている学校も税金が使われており、ほかに警察や消防や医療にも税金が

## ★福岡県久留米県税事務所長賞

福岡県立 朝倉東高等学校

一年 土内 羽月

## 「税についての理解」

私が中学生の時、税について学ぶ機会がありました。税は社会保障費や地方交付金などに使われていることを知りました。他にも新型コロナウイルス対策予備費などにも使われているそうです。

私に必要なのかと考えました。私は、消費税について色々調べてみました。消費税はだ

私に必要なのかと考えました。私は、消費税について色々調べてみました。消費税はだ

私に必要なのかと考えました。私は、消費税について色々調べてみました。消費税はだ

んだん増え、今は十パーセントまで上がりました。なぜ増税するのか調べてみたところ、

その理由の一つ目は、負担を分かち合えることです。高齢者を支える若い世代の人数が年々減少し、若い世代の税負担を少しでも軽減するために、高齢者からも財源を確保しているのです。二つ目は、消費税により税収が安定するということです。消費税は、課税されるタイミングが物を購入したときや、知識や技術、サービスの提供を受けた時で、高齢者や若い世代の全員に平等に課税されるので、特定の世代に税負担が集中せずに、景気などの変化にも左右されにくいものとなっています。三つ目は、経済活動への影響が小さいことです。消費税は物を購入したときや役務提供を受けたときに課税され、課税を自分自身でコントロールできるので、消費税増税はほかの税目と比べても、経済活動への影響が最も小さい税目です。この三つの理由が増税する理由です。

私は、消費税増税のメリットは少ないのではないかと思っています。一方で、デメリットは多くあると考えました。日本にとっての増税のメリットの一つとしては、支払う際に必要な費用を不当に操作できないため、脱税を防止することができるとです。デメリットとしては、増税によって国民が品物を買う頻度が少なくなり、景気が悪化してしまうことです。また、サービスにかかるコストを個々の能力に応じて負担する応能負担と、個人の能力に関係なく誰であれ同じ税を負担する応益負担も問題になっています。このように、家計への負担や低所得者の負担が増え、景気が悪化してしまいます。

私たちは、税を納めることで、安心・安全な生活、健康的な生活、文化的な生活を送ることができます。ですが、その反面、税の負担が増えることで、日本の経済が回らなくなってしまう可能性も出てきます。なので、それを防ぐために私たちが身近にできることを考えたいです。お互いを支え合い、助け合ったり、国を支えることがとても大事

★甘木朝倉地区税務連絡協議会 会長賞

福岡県立 朝倉東高等学校  
一年 國崎 龍斗

「頑張る理由」

だと思っています。一人一人が税に関する知識を持ち、それを踏まえて、自分の意見をしっかり持っておくことも大事です。私も、よりよい暮らしを目指し、税のことをもっと広めていきたいです。

「税金」そう言われても、中学校で教わった「大切なもの」「生活には欠かせないもの」というような大まかな感じでは知らなかった。今回の税の作文を通して、税金について調べてみた。僕は少林寺拳法をしていて、県大会や全国大会にも出場している。中学生の時は交通費や食事代を自己負担していたが、高校生になれば、高校体育連盟や高校から遠征費用として給付を受けて負担する必要がなくなった。今まであまり気にかけてな

かったが、このお金がどこからのかを調べてみたところ、やはり税金の一つであり、それが「文教及び科学振興費」というものだと知った。これは国が振り分けている税金の一つで、小中学校の教科書無償や、全国学力調査の実施、スポーツの振興にも関係しているものだと知った。今までは、ただ遠征に行っただけのことしか考えてなかった。これを知って僕は往復で移動するのにも交通費がかかって、多くの人々に助けられ

ていることを知った。だから、今まで以上に頑張れるような気がする。

もつと調べてみると、生活の中にも税金が関係しているものや、税金でできているものがかかさんあって、知らないうちにかかわっていることを知った。道路や、上下水道の整備、警察、消防、環境衛生などの公共サービスがある。どれも、生きていく上では必要不可欠なものだし、これからも必ず関わっていくものだと思う。今は税金は

払わず、もらっている側だけど、税があることに感謝していきたい。そして、自分が税を納める側になればしっかり払って未来の国作りの一員になりたい。

また、僕の夢は看護師になることです。だから、救急車や医療の現場では特に税金の身近になると思う。その時も、何も考えずに働くのではなく、仕事ができる環境にあることに感謝して、毎日働き続けたい。そして、自分で責任を持ち納税の義務を果たしたいと思う。

## ★公益社団法人 甘木朝倉法人会 会長賞

福岡県立 朝倉東高等学校

一年 早田 美乃

### 「税金と向き合う」

私は今年高校に入学した未成年だ。消費税はそんな私が納める唯一の税金である。「税金」という言葉は私にあまりピンとこないの、今回は一番身近な消費税について述べようと思う。

最近、8%であった消費税は10%に引き上げられた。アルバイトもしていない私達学生にとっては、ショックな出来事だった。消費税以外の税金といえば所得税、住民税などの収入によって金額が決ま

るものや、重量税、自動車税など段階によって金額が決まるものなど様々だ。今、紹介した4つの税金と消費税には大きな違いがあると思う。

「住民税非課税世帯」という言葉を耳にした。これに該当する人は収入が一定以下の人や、一人親家族などだ。これらの経済的に事情のある人は住民税が免除される。このように、ほとんどの税金は、誰もが平等に、その人に適した金額を納める制度となっている。

しかし、収入のない、未成年である私達や生活に困っているような人々からも10%という一定の金額を徴収する消費税は、本当に平等なものだと言えるのだろうか。

大袈裟な話だと思うが、例えば年収二百万円の人と年収一千万円の人が同じ一百万円のものを買うとする。その時、消費税は千円となる。年収二百万円と一千万円とでは、負担の大きさは全く違うのではないだろうか。一言に10%

といっても、収入の多い低い、また高齢者や未成年からもまんべんなく徴収する消費税は平等な税金であるとは私は思わない。

私達には税金を納める義務がある。私達にそれがある以上、私達が税について興味や関心を持つことは税金を納めることと同じくらい大事なことであると思う。私達の納めた税金は私達の身近なところで、私達のために使われている。

私は小さな頃から本を読むことが好きだ。私の近所には図書館がある。多くの人が利用するきれいな図書館だ。最近流行した新型コロナウイルスの対策で、その図書館に本のウイルスを除去するための機械が導入されていた。税金は誰もが暮らしやすい社会をつくるために役立てられている。

税金の負担ばかりに目を向けるのではなく、税金の役割などにも目を向ける必要があるのだろう。私もこの作文を通して改めて税金に興味を持

てたし、納税の大切さも分かった。これから、日常の中で税金がどのように使われているか、探してみようと思った。

私は小学生のころから税理士になりたいという夢がある。夢に向かって勉強する中で、これからも税金について考え、しっかりと税金と向き合っていきたい。

★朝倉市長賞

福岡県立 朝倉光陽高等学校

一年 日下 琉仁

「今、自分達が考える」

九州北部豪雨。二〇十七年に発生したこの豪雨は九州を中心に河川の氾濫やそれに伴う住宅への大規模な浸水、土砂崩れ等を引き起こし、多大な影響を与えました。特に都心から離れた農地や山地などは人が亡くなるほど被害が大き

く、私が住んでいる福岡県の朝倉市でも大雨の影響を特に受けていました。私は、環境変化による様々な災害が世界で増加していることに対して、自分が実際に体験した九州北部豪雨から、対策や復興について学んでおかなければ

ならないと思います、その中でも特に朝倉市と関連させて考えてみました。

まずは、被災地の復興には税金が有効に活用される必要があります。特に復興に向けた予算の一部は、被災地の住宅やインフラの再建に充てられるべきだと考えました。また、仮設住宅の運営、食料や水の供給など、被害者の基本的な生活支援にも税金は投入されるべきだと考えます。実際に朝倉市では各地域に仮設住宅を建設し、生活基盤を整えました。

次に、対策に関してはいはより迅速な対応や被害削減に向けた対災性向上といった、被害を最小限に抑えることが大切です。他にも避難所は地域ごとに指定し、必要な情報が即座に提供できるような情報面でも対応を急ぐべきだと考えます。特に高齢者を中心とした世代は情報収集がしにくい場合や間違った知識を元にされる方が多いため、様々な支援に税金を使うべきだと考えます。朝倉市も市民向けの行動マニュアルを整備したり、道路を耐災性にしたりと教訓を活かして策を講じていました。

朝倉市は、税金を使い、先程から述べている基本的な災害対策をしっかりと取り組んでいました。今回の災害と税金との関わりからわかるように税金は災害時の支援や予防策に活用される重要な資源です。視点を変えると被災者への納税控除や延期などの対策もとられています。税金を適

切に活用することで、地域全体の災害による被害を最小限に食い止め、安全な社会の実現に寄与することができま



# 中学生の優秀作文

★福岡県納税貯蓄組合連合会 会長賞

筑前町立 三輪中学校

二年 時津 沙耶

## 「税金と年金」

私達の身の回りには様々な種類のお金があります。そして私は、そのお金には多種多様な形があると思いました。その代表格が「税金と年金」だと思います。

私の祖父は、年金で生活を担っています。そんな祖父が最近こんなことをぼやいていました。「年金手帳を見たら年金

が上がっていたのはよかったです、それと比例して払わなければいけない税金が増えた。」また、申し訳なさそうな顔で「でも、私達が病院に行ったら医療費を一部負担してもらっている。それは、現役で一生懸命働いて、たくさん納税してくれている若い世代の人たちのおかげだ。助けてもらっていて、本当に申し

訳ない。」と言っていました。

その話に興味を持った私は、年金手帳と「年金受給者の皆様へ」と書かれたパンフレットを見せてもらいました。私は、その2つの冊子を読んで、税金は年金と深く関係していると思いました。そして、税金について考えていると小学校での国語の授業を思い出しました。

小学四年生の頃、消費税は必要か、それとも必要かというテーマに沿い議論する授業を受けました。税金がないと私達の日常生活を守れない。それすら分からない小学四年生の私には税金がないと自分の暮らしがどうなるのかイメージできませんでした。そのため私は、税金

は不必要という結論を出しました。クラスでもその結論を出す人が多かったです。それから数日後に税金がない世界を想像して作られたDVDを見ました。人が倒れても救急車は来ないし、火災が起きても消防車は現れない。道路や橋の整備が行われていないから車が通ることもできない。教育を満足に受けられない。など、多くの課題がある生活を目の当たりにしました。現実でそんなことが起こったらと思うと怖かったです。そして、知らない、または、知ることができない怖さにも気づくことができました。

税金の大切さを知らなかった私はとても簡単に税金は不必要だという結論を出したことを悔やみました。そして、この作文を書いているときに祖父が「今、社会が少子高齢化におちいつている。高齢者ばかりが増えていて、若い世代が支えきれなくなっている。現役で一生懸命働いている人達だけにまかせずに、年金で生活を担っている

高齢者も少しずつ払う税金を高くしてもいいのかな。」と書いていました。若い世代が高齢者を支えてあげている。ではなく、若い世代も高齢者も支え合っている。という意識をもてるような社会になれば理想的だと思います。

私が将来成人したときには日本の労働人口はどうなっているのかと考えたら「増税」という言葉が強く印象に残りました。しかし、自分の日常生活を守るためにもきちんと税金を支払って社会の一員になりたいと思いました。



★甘木税務署長賞

筑前町立 夜須中学校  
三年 日野 智菜

「今よりもっと素敵な日本にするために」

みなさんは税金と聞いて何を思い浮かべますか。例えば、国へお金を納めることや商品のシールに値段とは別に書かれている消費税など様々なイメージを持っていると思います。私が税金と聞いて思い浮かべるのは、税金を払うとそれのお金は国のお金として使われていくものだということですね。正直、私達の親やたくさん大人の大人が汗をかいて、大変な思いをしながら働き、得ることのできたお金を国のために納めるのは嫌だなと思います。しかし、国へお金を納めることである納税はどういう仕組みなのか。税とは何なのか。考えてみませんか。

学校の授業で実際に、税理士の方に来ていただき、税について教えていただきました。まず、税金とは国や都道府県、市町村などの地方公共団体に納めるお金のことで、国などに集められた税金は、税金を納めている私達自身のために使われているということでした。例えば、私達が通っている学校がなかったら。出したごみを片付けてくれる人がいなかったら。このようなことを考えたことはありませんか。実は私達の身の回りにはいろいろな税金のおかげで成り立っているのです。また、納められた税金は一つの所へ集められているのではなく、国に納められる国税と、地方公共団体に納められる地方税の二つに分けられています。そして、税には五十種類の数があり、所得税や酒税は国へ、自動車税は地方へ、消費税は

国と地方の両方へ納められているそうです。この話を聞いた時、私達は身近で、たくさん人の税と関わっているのではないかと考え、そういったさまざまな税はどこに納められているかを知っておくことで、税への関心が深まるのではないかと思いました。

そんなお話の中で私が特に興味を持ったことは、税金は国民が決めていたということですね。税金のすべてを決める税法は国民の代表である国会議員の多数決によって決められます。そのため、税金は国民が決めたルールということになるのです。そして私達は十八歳になり、選挙権を得ると税金のルールを決めることができるようになります。私も実際にこういった法律を変えていける人になりたいと思いました。

お話を聞き終えて、私が感じたことは、これからの日本では少子高齢化が進み、税金はますます集まりにくくなっ

てきているのではないかという事です。最近では、地球温暖化も進んでいる中で自然災害が多く、被災地の復旧にも税金は必要とされています。その中で私達は使うお金を減らすことや、税金のむだをなくす工夫と努力をするべきだと思います。一人一人が意識をすれば、これからの日本の経済は大きく変わっていくと思います。ぜひ、みなさんも今から考えてみませんか。



## ★甘木税務署長賞

筑前町立 三輪中学校  
一年 松尾 優吾

## 「心を温かくしてくれる税」

私は小学校五年生の四月から六年生の十月まで、IGA血管炎という、はつきりとした原因、薬が確立していない病気を患っていました。

症状が重い時間は、トイレ以外歩くことを禁止されて、足の血管がやぶれ、皮下出血が無数に現れ、精神的にも、肉体的にも、とてもつらい時期がありました。

多い時には、二、三日に一回大病院へ行き採血や検査、たくさん薬を飲む日もありました。

大病院では、待ち時間がとても長く父や母も仕事を休んで、私の通院にたくさん時間を使ってくれました。その時毎回私の病院に付き添ってくれる家族に感謝するとともに、毎回たくさん治療費を払ってくださることに罪悪感を持っていました。そのことを母に伝えると、「何も心配しな

くていいんだよ。日本は税金を医療、福祉等に使用して弱い立場の人を支え合う制度があるんだよ。」と言いました。

障害をもった子供が持っている車椅子や、足につけている器具等も税金の一部が使用されていることも教えてくれました。

診察の前の時間はとても緊張し検査の結果が悪くなっているのかドキドキしていたけど、待っている間、周りを見ると、一人一人に合った車椅子や器具がありました。たくさんの方が納めてくれた税金で少しでも動けやすくなった人や、足を楽にしてくれる器具をつけている人をたくさん見て、優しい税金がこのように使われることでみんなの痛みや苦しみを軽くしていると思うと、私の気持ちも少しだけ和らいだのを覚えています。

今、中学生になった私は、毎日

元気に学校へ通学できています。病気になっていた時期はとてもつらく悲しいことも多かったけれど何気ない毎日の中で、みんなが納めてくれた税金で多くの人が笑顔になったり、痛みを軽くしたりすることを知れて良かったと思え

ました。

私が大人になって税金を納める日が来たら、あの時の私のように「みんないるよ、頑張つてね!」と力強く言えるように、今はしっかりと勉強を頑張り、もっと、もっと税について学んでたくさん人の心を温かくしたいと思いました。

## ★福岡県久留米県税事務所長賞

朝倉市立 杷木中学校  
三年 足立 愛子

## 「税金の役割」

税金には約五十もの種類がある。それは幅広く立場の違う人たちから、負担の不公平感を感じさせないよう税を納めてもらうためだ。しかし相続税に関しては理不尽さを指摘する声も少なくない。所得税を納めたうえで貯めた財産に課税しているという背景を考えるとそのような意見が出るのも仕方がないと思えてくる。私も少なからず理不尽さを感じた。

私は所得税が何故あるのか疑問に思いウェブで調べてみると、

そこには「相続税はもとも税収確保としての役割を期待されていない。」と記載されていた。相続税の役割は「富の再配分」にあるという。財閥に権力が集中するのを防ぐため、相続税で財産を削ることに、力を一定に保つていくのだ。また、相続税は権力の集中の防止や景気の活性化にも役立っているそう。相続税によって日本の治安が保たれているとはなんとも衝撃的だった。このように税

金は財源調達以外にも大切な役割を担っているのだ。

税金は国民の生活を広く支えている。公立の小・中学校では教科書やパソコン、実験器具など多くの備品が税金によって購入される。

また、宇宙開発や科学技術の研究・消防署の救急活動やごみの回収・処理などの公的サービスにも税金は活用されているのだ。もしも税金がなくなってしまうと、お金持ちとそうでない人で教育に大きな格差が生まれてしまう。火事が起きて、お金が払えない人の所に消防車や救急車はやって来ない。ひび割れた道路には不法投棄されたごみが山のように積み上がっている。治安は最悪で、毎日のように犯罪が起きるが、それを取り締まる警察はいない。税金がなくなっ

た世界には、そんな光景が広がっているかもしれない。それほどまでに税金が私たちの暮らしに果たす役割は大きく、なくてはならない存在なのである。

税金を無駄にしないために私たちに出来ることは何だろう。例えば、家庭ゴミの削減。ゴミ処理に使われている税金を節約できるだけでなく、地球温暖化の原因となる温室効果ガスを削減することにもつながる。また、税金の使い道を決めるのは政府だ。選挙権が与えられる年齢になったら、積極的に選挙に参加し、自分たちの代表を自分たちで選ぶ。国民の一人一人が社会情勢に関心を持ち、自分にできることを考え行動することが、税金を無駄にしないことにつながっていくのだ。

★甘木朝倉地区税務連絡協議会 会長賞

朝倉市立 十文字中学校  
三年 喜多村 美樹

「税金の大切さ」

皆さんは、自身が払っている

税金が何のために、どこで使わ

れているのか知っているだろうか。私は今まで、教科書が無償であることなどの、学習を通して学んだ税金の使い道程度しか知らなかった。そこで、税の作文を書くにあたって、まず税金

はどんな場面で使われているのかを調べることにした。すると、この作文用紙に収まらないほど本当にたくさん使われていることがわかってきた。それらを大きく分類すると、三つの目的で使われていることに気づいた。

一つ目は、国民の安心のためだ。私たちが生活している中で、事故や災害は、どうしてもなくすことが難しい問題である。また、日々起こっている犯罪も、その一つである。人々を事故、災害、火事や犯罪者から守るために、税金は必要なのである。

二つ目は、人々の健康のためだ。人々が病気になるないように、また病気になるっても誰でも病院にかかれるようになっていく。病院のための税金がなければ、私たちは病院にかかるたびに高額なお金を払わなくてはならなくなってしまう。

う。私たちが健康に生きるために税金は重要である。

三つ目は、国民が文化的に生きるためだ。日本の中でも、誰もが裕福な暮らしをしているわけではない。やはり中には生活が苦しい人もいるだろう。そんなお金がない人でも、勉強やスポーツ、芸術を学べて、自分の夢をかなえられるように、税金は大切な役割を果たしているのだ。

また、社会保障費と呼ばれる医療費や年金、介護、子育てなどに使われるお金も、私たちの日々の生活の中で、大きく役立っている。

このように、税金は数えきれないほどの場面で人々の生活に貢献している。税金の使い道という点、どこか遠い存在のようにも感じるが、税金は私たちの身近なところでも使われている。

小・中学校にはば無償で行けるのは、税金のおかげだ。警察署も消防署も、すべて税金によって運営されているのである。どれも私たちにあって、なくてはならない大切な存在だ。

私たちが犯罪におびえず、火事が起こっても大げがをしても誰かに助けてもらえるという安心感を持ちながら生きていけるのも、税金という仕組みがあってこそのことなのである。もし

税金がなければ、犯罪も火災も増加し続け、とどまるところを知らない状況になるであろう。私たちが安全に、人らしく毎日を送るために、これからも税金を払い続けるべきである。

### ★公益社団法人 甘木朝倉法人会会長賞

朝倉市立 甘木中学校  
三年 樽美 夏葵

## 「みんなを助ける税金」

みなさんは税金が私たちの暮らしの中でどのような役割を果たしているのか知っていますか。税金とは、国や地方公共団体が、社会秩序の維持、私たちの安全健康及び福祉の保持、道路、港湾、上下水道などの公共施設の設備、教育の振興等いろいろな仕事をしています。私たちは、これらの仕事に必要な経費を税金という形で負担しているのです。

一つ目は、学校に行けなくなります。その理由として、学校の教科書はすべて税金から払われているからです。なので、それを払うことができず人たちは学校に行けなくなりお金持ちの人だけが学校に通えることとなります。

二つ目は、道路整備をしても、ええなくなります。そうすると、交通事故が増えたりします。それでも救急車も税金で動いているので、大金を払ってからじゃないと来てくれないようになります。

三つ目は、年金が無くなります。考えてみてください。将来私たちが年金の無い生活になったら、老人になってもずっと仕事をしなくてはいけません。それはとてもきついです。

将来、安全な暮らしも学ぶこともできなくなります。私たちが今、平和でなにげなく暮らせているのは、国のサポートや、懸命に働き所得税を納めている大人の方たち、消費税や酒税などのさまざまな方法で税金を納めている国民全員のおかげです。

四つ目は、火事が起きても火を消してくれないことです。もしも火事が起きても誰も助けてくれなかったらどうしますか。私だったら何もできないと思います。家の火を消す方法も知りませんし、どうすることもできないと思います。

このように税金が無くなったらとても大変なことになります。

このことは今、大人の方たちが中心となってしていることです。が、大人になったら私達が支えて恩返しすることが大切だと思います。これから私は、税金が大切であることを広めていき、大人になってからは、社会に貢献したいと思っています。

### ★朝倉市長賞

朝倉市立 南陵中学校  
三年 永露 和花

## 「私たちの生活は税金が支えている」

私を通っている学校に雷が落ちたらしい。その週明けの日に学校に行くと、ほとんどの機能が回復していてこれといった違和感は無かった。だが、後から

「トイレの水が流れないほど影響があった。」と先生から聞いた。私はその時、ふとこのことを思い出した。「税金」だ。よく

学校の備品は税金で賄っているという話を聞いていた。だから、この日起こったことを解決するために「税金を使ったのかもしれない。」と。

そもそも税金とは「皆が安全で快適に便利に暮らしやすくするために使われるお金。」でみんなが共同で使うものに出されている。そんな税金には大きく分けると三つある。

一つ目は国税だ。国税には消費税、所得税、法人税、相続税など二十種類ある。消費税は、お店で十パーセントの税金を上乗せされているので国民が買い物の時に支払っている。それをお店の経営者が国に納めている。所得税は、事業者が税務署に所得に応じて支払う。サラリーマンは給料から引かれている。法人税は株式会社などの法人の所得にかかる税金である。相続税は、親が亡くなったときに、子供に相続された財産にかかる税金である。

二つ目は県税だ。県税には県民税、自動車税、事業税など

十六種類ある。県民税は、県内に住んでいる方の所得の額に応じて納める税金である。自動車税は、原則として毎年四月一日に自動車の所有者にかかる税金である。この税金は、乗用車やトラックが対象である。事業税は、事業を営む個人や法人にかかる税金である。

三つ目は市税だ。市税には、市民税、固定資産税、軽自動車税など九種類ある。市民税は労働者一般の市民にかかる税である。固定資産税は私たちが住んでいる工地や住宅にかかる税である。軽自動車税は軽自動車やオートバイ、原付などにかかる税になる。

そんな税金は学校でたくさん使われている。例えば、校舎の建設費、校内の教育関係の備品などだ。

きっと税金というものが無かったら、私たちの学校生活が快適になることはなかったと思う。もしかしたら、学校に通うことすらできなかつたかもしれない。私も税のおかげで充実し

た毎日を過ごさせている一人だと思う。「日本は税金を無駄遣いしている。」という声がある。しかし、否定的な意見ばかり口に出せず、自分の手で調べ、目

で見て、肌で感じるものが最も大切だと思う。

私は日本国民に伝えたいことがある。「私たちの生活は税金が支えている。」と。

### ★筑前町長賞

筑前町立 夜須中学校

三年 古賀 日葵

## 「社会を成り立たせる重要なもの」

税は、社会を成り立たせる重要なものだと思う。私がそう考えたいきっかけは、学校で行われた税についての講習会で、税の意義や、もし税がなかったら社会はどうなるかを学んだからだ。税とは社会のためのお金で、いろいろなところで使われている。例えば、年金医療などの社会保障。福祉や水道、防衛といった社会資本整備。教育や警察などといった、公共サービス。このようにたくさんのお金で、税は社会のために使用されているのだ。私は、今まで税について詳しくは知らなかつたし、知ろうとも思わなかつたので、例に出

したもののように税が社会のために役に立っていることを知って驚いた。もし、税金がなくなったら社会は大きな影響を受け、みんなが安心安全に過ごせなくなってしまう。警察や消防車を呼ぶのにお金がかかったり、ごみ収集車が無いせいで街が汚れてしまったり、道路が壊れても、直す費用がないためそのまま放置されてしまったりなど、いま私たちが何も思わず「当たり前」に過ごしている日々が当たり前じゃなくなってしまうのである。税金を使って、道路を工事してくれる道路工事作業員さんのように、税金があつてこそ成

り立つ職業もある。また、当たり前を成り立たせてくれる職業は税金を使っていることが多い。さらに、道路を工事するための税金はそれぞれの市町村に住む私たちが納めているのだ。道路が直れば、家族はもちろん、地元の人などのその道路を利用する人たちがけがをせず、安心安全に道路を通ることができるとだ。これは、道路を直してくれた作業員さんのおかげでもあるが、同時に、しっかりと税を納めた自分たちのおかげでもある。このように、自分たちが暮らす市町村の安全や納税は繋がって

### ★東峰村長賞

東峰村立 東峰学園  
九年 鬼丸 知音里

## 「税金に支えられている私達の暮らし」

私の住んでいる地域では、中学生までの子供の医療費が税金によって免除されています。そのため、けがか病気をしたときに、お金を払う必要がないので、とても助かっていると親が

いるのだ。また、私は水泳部に所属していて、練習の際に顧問の先生から言われたことがあった。「学校のプールの水道代は税金で賄われています。そのことに感謝を忘れないで、日々の練習で結果を出さないといけない。」この言葉を聞いて、税金は町の安全を保つだけではなく、子供たちを支援するためにも使われていることを知った。私は税金が明るい社会をみんなで共有するための一つの手段であり、社会を成り立たせる重要なものだと改めて思った。

言っていました。私が知っている税金の使い道は少ないですが、その他にもたくさんの方に税金は役立っていて、それによって私たちの暮らしは支えられています。

では、税金は、どのようなことについての割合のお金が使われているのでしょうか。税金には国が課税の主体となる「国税」と、市区町村など地方公共団体が課税の主体となります。国税は、基本的に私たちの生活と安全を維持するために、医療費の補助や道路の整備、教育や研究の援助などに使われます。主な使い方は、健康や生活を守る社会保障費に三割ぐらい、国債の返済や利子の国債費に二割ぐらいです。最も多く使われているのは社会保障

障関係費です。医療・年金・福祉・介護などの国民の生活を支えるために使われています。日本では、少子高齢化が進んでいるため、社会保障関係費が膨れ上がっているそうです。そのため、現在は税金と借金によってまかなわれているそうです。地方税も基本的に私たちの生活と安全を維持するために使われますが、地方税の使い道は、国税よりもさらに身近です。ま

た、それは自治体によって内訳が異なります。私が住んでいる福岡県では、主に、学校教育の振興や保健・医療・福祉の充実に使われています。わかりやすい例で言うと、教科書の無償化や学校の建設、病院などの医療施設の整備などです。一見、私たちの暮らしの中で税金に支えられている、助けられていると感じる場面は少ないですが、調べてみると、私たちはいろいろな面で税金に支えられている、助けられていると知ることができました。

しかし、税金を払うことが負担と感じる人もいます。税金の重要性とは何なのでしょう。年金、医療などの社会保障・福祉や水道、道路などの社会資本整備、教育や警察、消防、防衛といった公的サービスは、私たちの豊かな暮らしには欠かせないものですが、その提供には多額の費用がかかります。こうした公的サービスは、特定の人だけのために提供することや、社会保障や教育など、費用負担



が可能な人への提供のみでは社会的に不適當なものであり、国民全員に必要な量のサービスが提供されません。こういったことをなくすために税金を国民に納めてもらうことが重要になります。税金を収めることは苦しいと思うかもしれませんが、自分のお金を税金として納めることにより、みんなの支えになり、協力して住みよい社会を作っていくので、税金はとてすてきな仕組みです。私も、将来、税金をしっかりと納めて、誰かの役に立てるとい

# 税の標語

全国間税会総連合会 入選

納税を 納める義務と 知る責任

甘木中学校 二年 井口 新氣大

納税は 互いを支える 架け橋だ

南陵中学校 一年 小林 夏帆

税のこと しっかり知って 豊かなくらし

十文字中学校 二年 山崎 柚乃

税金は すてきな未来の 架け橋だ

杷木中学校 三年 高岩 芽

税金は 社会を支える エネルギー

比良松中学校 三年 蘇木 祐二

甘木朝倉間税会が募集した「税の標語」です。本年度は管内中学校9校から2,606点の応募がありました。

# 租税教育活動を やっています

甘木朝倉地区税務連絡協議会では、構成団体が協力し、税知識の向上及び納税意識の高揚を目的にさまざまな活動をおこなっております。



## 甘木朝倉地区 税務連絡協議会とは？

### ★構成団体は？

- ・ 公益社団法人甘木朝倉法人会
- ・ 甘木税務署管内  
青色申告会連合会
- ・ 甘木税務署管内  
納税貯蓄組合連合会
- ・ 朝倉地区  
税務相談所運営協議会
- ・ 甘木朝倉間税会
- ・ 甘木税務署管内酒類業懇話会
- ・ 九州北部税理士会・甘木支部

### ★何をしようとする団体ですか？

- ・ 一般の方々の税知識や納税道義の向上を目的とした様々な活動を行っています。
- ・ 中学生や高校生の税に関する優秀な作文を表彰する等して、租税教育の支援をおこなっています。